

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム（社会科系科目）

出題の意図

（問1）

（出題の意図）

「勤労」の意味の変遷や時代背景とともに、左右の政治的立場を問わず「日本人の伝統的な道徳観や倫理観」であり「あるべき日本人の姿」とされてきたことを踏まえた課題文の鍵概念について理解する力を問う設問である。

（問2）

（出題の意図）

「勤労」を土台とし個人の自己責任によって支えられた「小さな政府」は、経済が停滞すると一転して社会全体が不安定化、脆弱化せざるを得なかったという経緯を整理した上で、多くの中間層の生活水準が劣化し、世論を意識して既存の制度やサービスを抑制する「袋だたきの政治」に陥っている現在の社会の現状を、課題文から読み取り適切に要約する力を問う設問である。

（問3）

（出題の意図）

課題文における、「生存権」よりも「勤労の義務」が優先されてきたことへの批判を踏まえた上で、何らかの社会問題を例示しつつ自らの考えを模索する力、そしてそれを論理的に展開する力を問う設問である。